

# 若林城の御殿建物の一部を発見！

平成27年11月1日（日）  
仙台市教育委員会

〔遺跡名〕 若林城跡（わかばやしじょうあと）  
〔調査地〕 仙台市若林区古城（宮城刑務所内）  
〔調査理由〕 宮城刑務所全体改築に伴う調査  
〔調査期間〕 平成27年5月25日～12月25日（予定）  
〔調査面積〕 2,327㎡  
〔調査主体〕 仙台市教育委員会  
〔調査担当〕 仙台市教育委員会文化財課  
（株）イビソク



南から見た若林城跡（平成17年撮影）

## ○若林城ってこんな城

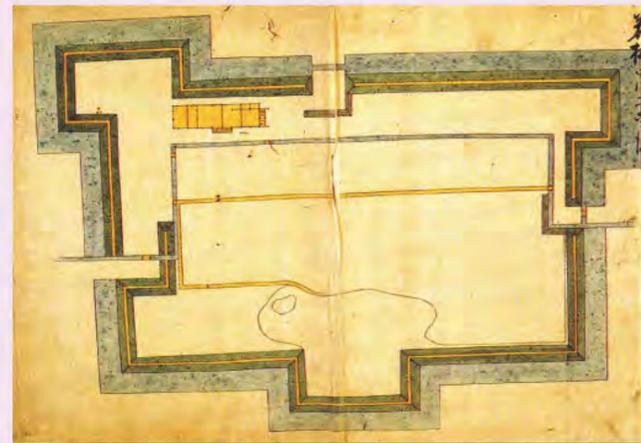
若林城は仙台藩祖 伊達政宗が仙台北城築城後の寛永5年（1628）に「仙台屋敷」として造営した城で、晩年の政宗はこの若林城を仙台での居所としました。寛永13年（1636）に政宗が死去すると、遺言により城は廃絶され、『伊達治家記録』によると、城内の多くの建物は寛永15年（1638）に二代藩主の忠宗が造営した仙台北城二の丸に移築されました。その後、城跡は藩が営む薬園となり、明治12年（1879）に宮城集治監が置かれました。城跡の規模は東西420m、南北350mもあり、本丸部分としては他の大名の居城にも匹敵する広さがあります。周囲には高さ約5mの土塁と外側には幅約20mの堀跡が巡り、土塁や門の配置から、戦を意識した城とも言われています。

## ○ここまでわかった城の姿

平成17年から20年の城の中心部で行った発掘調査では、大規模な整地土の上に、複数の大型建物跡や広範囲の石敷きなどを発見し、表御殿の存在が初めて明らかとなりました。また堀で区画された城内の北東部は奥御殿があったと推定されています。さらに北東隅に掘られたゴミ穴からは、多数の土器などが出土しました。

これまでの調査で発見した大型建物跡のうち、1号と3号の建物跡は、仙台北城二の丸の初期の姿を描いた「御二の丸御指図」の中に描かれ、「天台所」と「焼火間」として移築された建物の跡であることが判明しました。このことは文献記録と発掘調査の成果が一致した貴重な例といえます。

平成21年と25年に実施した第10次・第13次調査では、御薬園のものと思われる礎石建物跡のほか、若林城内に水を引き入れていた六郷堀や古い河川跡を発見しました。



『御修覆帳』「若林御薬園」（東北大学所蔵）

## ○今回の調査で発見したもの

今回の調査では若林城の御殿建物の一部と考えられる礎石建物跡を発見したほか、若林城に関係するとみられる石組み溝跡や堀跡、池跡の可能性のあるもの、さらに六郷堀の一部を発見しました。

### 1 表御殿の一つとみられる礎石建物跡

調査区の南側で東西に長い礎石建物跡を発見しました。この建物跡は平成18年の第7次調査で確認した5号礎石建物跡の一部と考えられ、その規模は東西14間（27.5m）以上、南北3間（5.9m）になります。御殿建物を建てるにあたっては、大規模な整地をした上に柱を据えるための礎石を並べましたが、今回発見した礎石建物は礎石が全て抜き取られその痕跡のみが残っていました。

この建物は規模や形状に加え、主要御殿に隣接する配置から、儀式や接客を行う表御殿の中でも実務的な作業を行った建物とみられます。



5号礎石建物跡（西から）

### 2 複雑に配置された石組み溝跡・堀跡

調査区の南側と東側では、複雑に配置された多くの石組み溝跡や堀跡を発見しました。

溝跡は建物の周囲に配置された雨落ち溝や水路と考えられ、これらから水を引いたとみられる池跡の可能性のあるものも発見しました。また、堀跡はいくつかの地区に分かれていた城内の一角を区画するための施設と考えられます。

今回の調査で発見した溝跡や堀跡は表御殿の北東側にあり、この地区には表御殿とは異なる性格の建物や空間が存在していたと考えられます。



127号雨落溝跡



114号石組溝跡（西から）

### 3 城内に引き入れた六郷堀跡

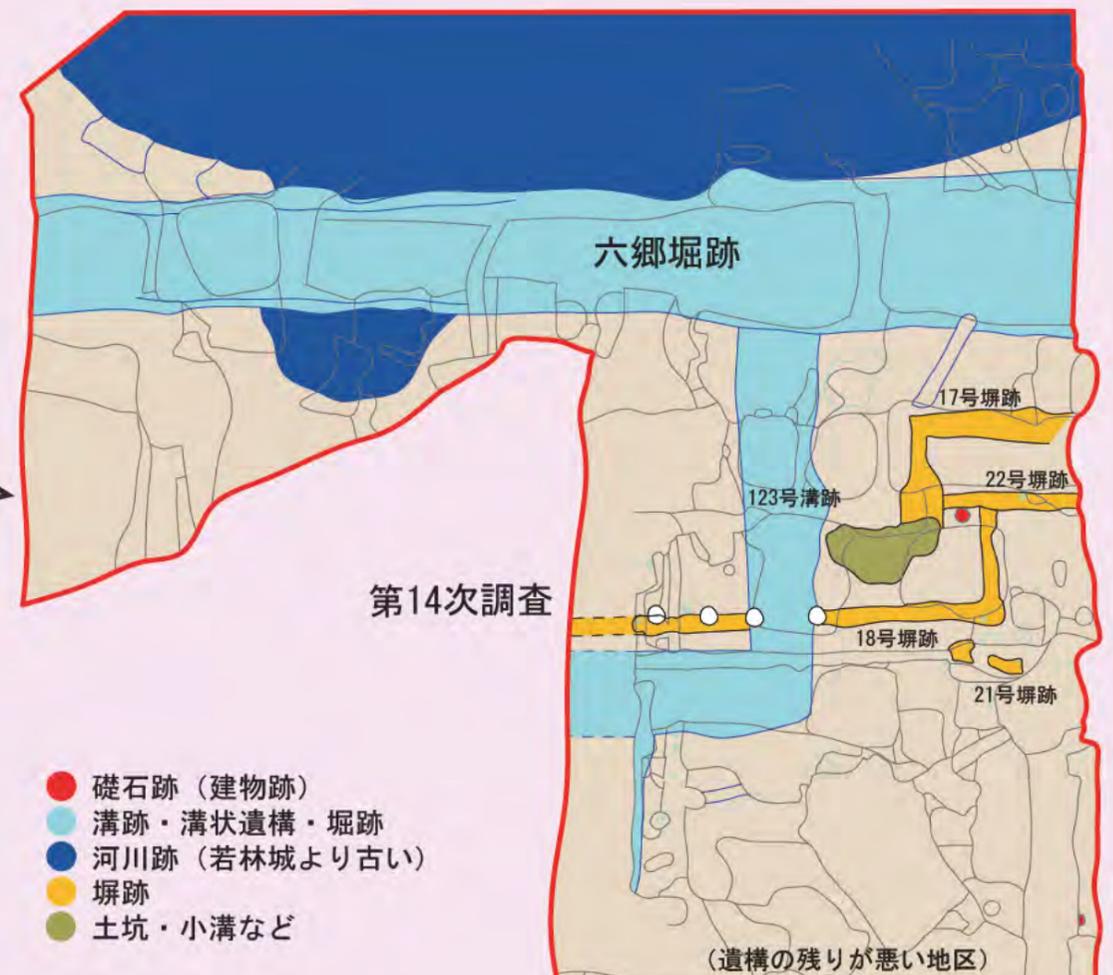
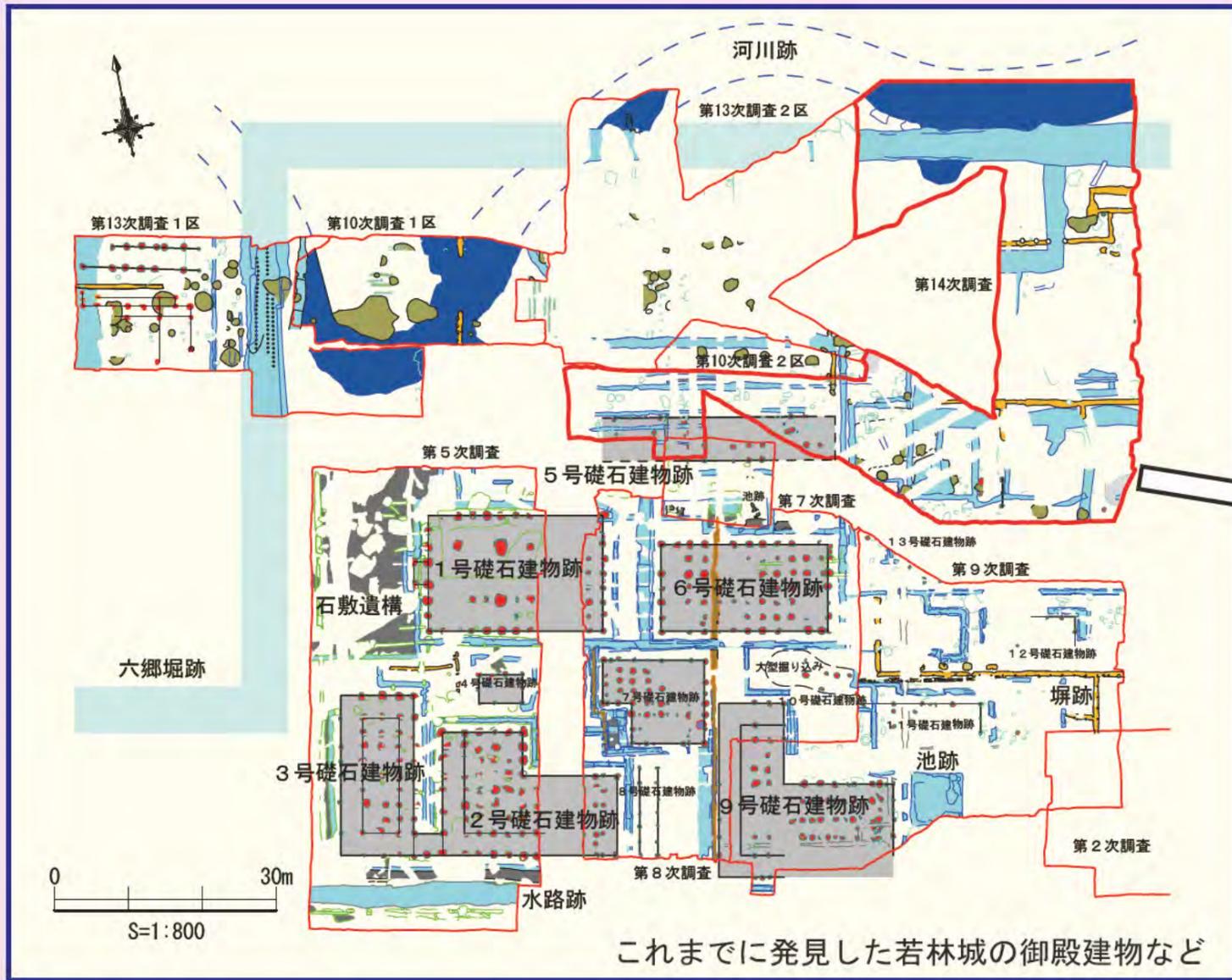
現在、広瀬川から取水し、宮城刑務所の北側を流れる六郷堀を城内に引き入れていたかつての六郷堀を発見しました。六郷堀は「御薬園」絵図にもみられる大規模な水路跡です。また、六郷堀の北側では堀より古く、人為的に埋められた河川跡を発見しました。

若林城の造営に際してはこのような河川を埋め、新たな堀を掘削するなどの大規模な土木工事を行っていたことが判明しました。

六郷堀は石組みの水路ですが、発見した六郷堀は宮城集治監の設置により、石組みが取外され、廃材などで埋められています。



六郷堀跡（西から）



○調査のまとめ

- 1 若林城の表御殿の一部と考えられる礎石建物跡や表御殿とは異なる性格の施設を区画する堀跡、さらに複雑に配置された水路跡などを発見しました。
- 2 若林城の北側を流れる六郷堀を城内に引き入れたかつての六郷堀や、若林城の造営の際に埋められたかつての河川跡を発見しました。

今年の調査で発見したもの

